

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学校法人多幾山学園 こばとっこくらぶ(中野)			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 8日 ~ 2026年 1月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 12月 8日 ~ 2026年 1月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	NCプログラム(認知・言語促進プログラム)をもとに個々の発達状況に応じて、それぞれの子どもが興味あることや好きな物を課題の中に取り入れる等して、おもちゃや手作り教材等を使い、遊びを通して楽しみながら子どもの発達を伸ばしていくことができる。	支援の内容が固定化しないように、職員同士が毎週話し合う時間を設け、一人ひとりの子ども達が楽しんで意欲的に取り組める教材や、成功体験を通して獲得する学びの中で、一人ひとりに合った方法で支援を行っている。	子ども達が楽しんで力を伸ばしていくよう準備に努め、引き続き偏りがないように支援を工夫していきます。
2	保護者の方と、子ども達の姿や様子を共有しながら、日々の悩みや困っている事に対して、丁寧に、迅速に対応するように心掛けている。	日常生活上、また、子ども達の在籍する幼稚園・保育園で、本人が難しさ・やりづらさを感じている場面があれば、丁寧にヒアリングをし、環境改善できる箇所やその子に合う方法などがあれば、連携して検討することができている。	就学などの将来を見据えた支援をしていくよう、引き続き支援していきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場を設けること。	保護者会を実施したいが、共働きのご家庭が多いため、開催する時間が現状だと営業時間外でないと困難なので、母体となる法人と相談して検討している。	同じ悩みを持つ保護者同士が、子育てや将来に対する悩み・不安などを気軽に話せる場を開催できるよう、調整したいと思います。 また、今後卒業生の保護者の方を招いて、アドバイス等を頂く機会も設けられたらと考えています。
2			
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	学校法人多幾山学園 こばとっこくらぶ
------	--------------------

公表日 2026年 1月 27日

利用児童数 46名

回収数 25名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	4	0	0	・もう少し広いと良いと思います。 ・それぞれのスペースはあるが、仕切りにぶつかる子にはまだ危なく思える。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	0	0	2	・運動の時間も安心して見てもられる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	0	0	・運動するところ、学びの部屋を子どもがしっかり理解している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	0	0	・床に髪の毛が落ちていたりするので、こまめに掃除して頂けるとよりよい環境になると思います。 ・とてもきれいです。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	0	0	0	・子ども自身が、自分を受け入れてくれていると安心している様子で成長を続けています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1	0	0	・担当の先生と保護者の面談が毎回あるので、支援内容を理解し通えています。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	0	0	0	・子どもに合った内容のお陰で成長が見られると思います。 ・日頃の保護者との面談で相談している内容が反映されていると思います。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	0	1	・移行支援がわかりません。 ・実行実現可能なこととして具体的な内容が設定されているのかまだわかりません。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0	・子どもの調子に合わせ適宜内容が変わることもありますが、都度説明して頂きとても納得しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	0	0	0	・いつも色々なプログラムが組まれ、手作りの発達を促すグッズもとても工夫されていると思います。 ・子どもの様子を見て同じことをする、やり方を変えるなど工夫を感じています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	2	11	・保育園に行っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0	・分かりやすく、納得のいく内容だったため通所を決めました。 ・支援を利用する中で改めて不明点が出てきた際も、その都度説明頂いています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0	

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	6	3	4	・研修会ではないが、日々アドバイスをいただいている。 ・イベントのポスターは貼ってあるなど思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	0	0	0	・とても丁寧に教えてくださり嬉しいです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	0	・毎回フィードバックや聞き取りの時間があり、精神的にとても助けられています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0	・様々なことを相談させていただいており、すぐにアドバイスをくださるので助かります。 ・とてもありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	8	9	・今後、期待したいと思います。 ・特に希望していないので、どちらともいえない丸をつけました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	1	0	1	・利用したことではありませんが説明頂いています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	0	0	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	0	・保護者が気にしていないところまで配慮して頂いています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	8	・訓練についてはわからない。 ・説明はありましたかが、訓練はないです。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	4	1	12	・訓練についてはわからない。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	6	・入所時にあったかもしれない。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	9	・発生していない。 ・入所時にあったかもしれない。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0	・安心して自分を自由にさらけだしている様子です。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	0	0	0	・行きも帰りもとてもご機嫌で楽しそうにしています。 ・毎週通うのをとても楽しみにしています！ ・「○○先生に会いに行く」と通所日以外にもよく言っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	・安心して通わせています。 ・保護者への聞き取りや声掛けのおかげで、子どもだけではなく親も助けられています。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	こばとっこくらぶ		公表日	2025年 1月 27日	
環境・体制整備	1	チェック項目 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい 5	いいえ 0	工夫している点、課題や改善すべき点 活動内容に合わせて部屋の割り当てを決め、子どもが過度に密集しないようにし、安全に配慮しています。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	人員基準に沿った職員配置をしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	パーテーション、音楽等を用いて構造化し、子どもにわかりやすいように配置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の清掃・消毒にくわえ、定期的に点検を行っています。 また、頂戴したご意見を踏まえ、枠の切り替えのタイミングに床の清掃を行っています。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どもの希望に応じて部屋を選択することも可能にしています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎週必ず職員で振り返りを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	真摯に意見を受け止め、対応に取り組んだり工夫につなげたりしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎週必ず職員でミーティングを行い、その中で意見等を把握しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所様に依頼し、今年度実施しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	事業所内で研修を実施しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページにて公開しております。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	ご契約時、また、フィードバックやお迎え時にニーズや課題をヒアリングし、認知・言語促進プログラムをもとに支援計画を作成しています。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	担当職員を含め、子どもにかかわる職員全員で話し合って支援計画の作成をしています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	児童発達支援管理責任者を中心に、職員と話し合って支援方法などを策定しています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	行動観察にくわえ、全てのお子さまに対して認知・言語促進プログラムを実施しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を踏まえ、具体的に支援内容を設定して作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員間で話し合い、立案しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	職員間で話し合い、固定化しないよう工夫しています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	親子通所クラス、グループクラス、2つのクラスで差別化を図り、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成し、支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	職員間で打ち合わせを行い、内容を確認、役割を分担して支援を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	職員間で振り返りを行い、次回の支援に活かしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援後は必ず支援の記録をとり、検証・改善につなげています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	児童の発達や様子に合わせ、児童発達支援管理責任者がモニタリングをし、支援計画を更新しています。
連携による支援の実現	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が必ず参画しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	主に児童発達支援管理責任者が保育園、幼稚園へ訪問し、連携を図っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	主に保育園、幼稚園と情報共有し、相互理解を図っています。

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	区の就学相談資料等を活用し、引き継ぎをしています。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	0	必要に応じて、児童発達支援センターと情報を共有し、連携を取っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	実施していません。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	担当職員が保護者の方と話し、共通理解を持てるよう努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	日常的に相談ができる事をお伝えしており、希望者には家族支援プログラムを実施しております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	初回契約時に管理者が保護者の方に書面にて説明しております。
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	その時点でのお子さまの発達バランスの評価や、保護者の方のご意向をヒアリングしたうえで計画書を作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	書面にて説明を行い、同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	日常的に保護者支援として相談ができる事をお伝えしており、ご要望があれば実施しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	開催していませんが、検討している段階です。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	

非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的にInstagramや月報(こばとのおたより)にて発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に保護者の方に確認し、月報・SNS等、細心の注意を持って取り扱っています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもや保護者の方に合わせた、情報伝達を心がけています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	実施していません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	策定したマニュアルを用いて、職員で訓練を実施しています。今年度はお休みだった児童は除き、グループクラスをご利用されている子どもたちと訓練を6月に実施しました。親子通所クラスの方はまだ実施しておらず、今年度中に実施する予定です。 各マニュアルについては、ホームページ(ご利用者の皆様へ)上にアップロードし、ご家族の方への周知を図っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	策定したマニュアルを用いて、職員で訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に確認しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に確認しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	作成した安全計画を用いて、職員で研修や訓練を行っております。また、支援前・支援後に点検を行っています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	ホームページ上にアップロードし、保護者の方への周知を図っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	LINE Worksを用いて、全職員が必ず確認できるようにした上で実施しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	身体拘束防止を含め、最低でも毎年1回は実施しております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			契約時に説明はしていますが、個別支援計画に身体拘束に関する記述は載せないので、身体拘束は行いません。